

くすのき

北九州市立葛原小学校
校長 田邊 伸三

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

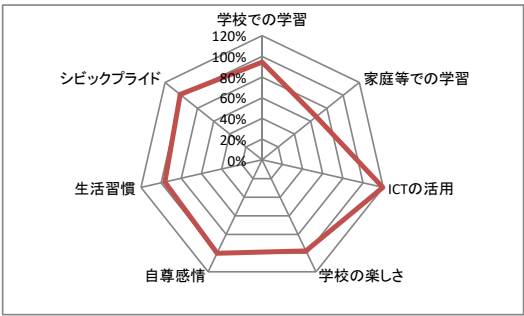
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	・全体的には全国平均正答率を下回っていた。 ・資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫して書く問題に課題がある。普段から資料を基に、自分の考えを伝えるための工夫した文章を書く学習指導要領を習慣化する必要がある。
算数	・全体的には全国平均正答率を下回っていた。 ・数量の関係を捉えたり、割合を求めたりすることに関する問題に課題がある。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
・「友達関係に満足しているか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」との問いに対して約90%の児童生徒が肯定的に回答している。 ・ICTの活用や自尊感情、シビックプライドに関する設問に関しては、全国平均を上回っている。学校での学習に関しては自分の考えを上手く伝えられるように、今後も学校全体で授業改善を進め、児童が「わかった」「楽しい」と思える授業にすることが必要である。 ・「学校の授業時間以外での学習」や「休みの日の学習」が1時間以上と回答した割合が低かった。今後は、ICTを活用したり、個に応じた課題を用意したりする家庭学習に取り組ませ、充実を図るようにする。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・国語については、低学年でMIMや音読などを行うことで、書いたり、読んだりする力を高めている。また、全校で「聞く聞くタイム」として、コグトレに取り組む、認知力や聞く力を高めている。 ・算数については、朝の補充学習で、基礎的・基本的な内容の定着を図るために計算プリントやCRTの結果などを活用して学習に取り組んでいる。 ・どの教科の学習でも、タブレットを活用してペアやグループ、全体で考えを交流させ学び合う時間を設定し、伝え合う力を高めていく。 ・自分の考えを工夫して発表する機会を充実させるなど授業改善に取り組んでいる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

各学年の実態に応じて、自主学習ノートやプリントなどを用意し、家庭での自主学習に取り組ませ、家庭学習の充実を図っている。また、各学年で自主学習や授業のノートなどよい手本を示し、自主学習の方法を指導している。学期に1回、自主学習コンテストを行い、全校で取組の参考となる自主学習ノートを掲示し、紹介している。また、今後はタブレットのドリルアプリなどを活用した日々の宿題や家庭学習に取り組む予定にしている。
